にちにちこれこうじつ
日日是好日

群馬県立桐生特別支援学校
令和５年　５月　２日
校長だより　№２

先週は全校集会が行われました。今年度は８回の集会を予定しています。２５日に行ったのは「保健集会」（けんしんのうけかた）。内科医、歯科医、耳鼻科医、眼科医に扮した本校職員と検診の受け方を練習しました。これで当日も安心して検診を受けられます。中学部生はさすがに慣れたものです。検診前後の挨拶もしっかりしていました。小学部のみんなも怖がらず検診練習を受けていました。慣れること、見通しをもって臨めることは重要です。

以前、勤めていた学校の保護者で子供の歯の定期検診は欠かさず行っているという方がいました。小さいときは受診を怖がり大変苦労されたそうです。いつか本格的に治療が必要となったときに、怖くて診てもらえないことがないよう慣れるために定期検診を続けているとのことでした。

校長室のホワイトボードには各クラスの学習予定表が貼ってあり、それを見ては参観に出かけています。一年生が作る野菜の看板とはどんなものかな。教室を覗くと３人の一年生がオクラやピーマンに色鉛筆やクレヨンで色を塗っているところでした。クレヨンの匂いや色鉛筆を削ることの方に関心が向いている子もいましたが、みんな座って活動を続けていたので、すごいなと感心しました。同じ時間帯で中学部生は虫歯予防ポスターを描いていました。かわいらしい表情や歯磨きする手の動きを工夫して表現する生徒、iPad で自分の顔を映してリアルさを追求する生徒まで様々。どれもいい作品となっていました。完成が楽しみです。

２７日の中学部登山はハイパーコースに行ってきました。健脚な生徒についていくのは一苦労。生徒はお互いに声を掛け合いながら登ります。自分の上着を一枚脱ぐと、他の友達にも暑くないかと声をかけます。誰かが「頑張れ。」と声をかけると、隊列のあちらこちらから「頑張れ。」の声が返ってきます。足下の悪い下り坂では、「大丈夫。」と励ましていました。誰も無理に追い越そうとしたり、急かせたりしないのにも感心しました。生徒に励まされ私も無事完歩することができました。コースの途中に鐘がいくつかあるのですが、あると鳴らしたくなるものです。今回、一年生が一人ハイパーコースに挑戦していたのですが、先輩達の中にあってちょっと遠慮していました。その様子を見て先輩達が、「叩いてみたら。」と勧めていました。先輩らしい姿に感動しました。

みんなが着ている右のロゴ入り「桐特Ｔシャツ」は、かっこいいですね。「桐特　ＯＮＬＹ　ＯＮＥ」は、今から２０年以上前に、職員が特体連に向けて作ったのがはじまりのようです。当時勤めていた先生が教えてくれました。「世界に一つだけの花」が大ヒットとなる以前に、この歌詞に感銘を受けた先生からの発案だったそうです。本校で学ぶ児童生徒、そして先生方の姿によくあいます。誰もが個性をもち、もてる力を精一杯に発揮して輝ける。そして、お互いの良さを認めあえる学校にしていきたいと思います。